

平成 2 4 年度事業計画

公益財団法人科学技術交流財団

公益財団法人科学技術交流財団は、設立以来、幅広い研究者・技術者の交流を基盤とした様々な事業を実施し、地域の科学技術振興の一翼を担う団体として、着実に成果を積み重ねてまいりました。

加えて近年においては、公益財団法人への移行や本部事務所の「知の拠点あいち」への移転など、更なる飛躍の機を得ています。

こうした中で平成24年度は、「中期活動方針」を踏まえ、科学技術に関する研究交流や共同研究などの基本事業に加え、「地域イノベーション戦略支援プログラム」などの国の公募型プロジェクトについても、積極的な取組を進めます。

さらに、愛知県の「知の拠点計画」に基づき、本格研究2年目となる重点研究プロジェクトを強力に推進するとともに、「中部シンクロトロン光利用施設（仮称）」については、年度内に供用を開始し、企業、大学等の研究開発の高度化を促進します。

公1 研究交流事業

43,498 千円

(1) 研究交流クラブ事業

8,800 千円

科学技術の新たな芽を生み出す場として、産・学・行政の研究者、技術者、経営者などを会員とする常設の交流組織である「研究交流クラブ」を運営することにより、既存の組織・分野の枠を越えたハイレベルな交流や優れた業績を有する研究者との交流等を促進し、新たなヒューマンネットワークの構築を推進する。

ア 会員の募集

地域の大学、国公設試験研究機関及び企業等の研究者、技術者、経営者などを対象に広く新会員を募集する。

会員総数 711人

(平成24年2月29日現在)

法人会員A	46人	学識会員	324人
法人会員B	142人	個人会員	53人
特別会員	146人		

イ 定例会

会員相互や会員と国内外で活躍している研究者等との交流を深めるため、科学技術に関するテーマによる講演会、見学会を実施する。

定例会 7回（講演会 5回、見学会 2回）

(2) 研究会事業

17,779 千円

公募により採択したテーマごとに企業、大学、国公設試験研究機関等の研究者、技術者等をメンバーとした研究会を設置し、ハイレベルな情報交換、技術トレンドの把握及び先導的な研究テーマの発掘を行い、新しい科学技術情報を発信する。

研究会 25テーマ

継続研究会	12テーマ
新設研究会	13テーマ

(3) 異業種技術交流支援事業

1,633 千円

中小企業の異業種交流グループ相互の交流を進めるとともに、その中から技術

融合化の取組みを促進させるため、合同交流会を開催する。また、技術交流プラザの事務を代行するなどプラザの活動支援を行う。

合同交流会等	3回
支援プラザ数	4プラザ

(4) 技術普及推進事業 15,286 千円

あいち産業科学技術総合センター等の技術シーズを始め、最新の技術、次世代技術、基盤技術の動向等を紹介し、その技術移転を図るため、5分野の研究会を設置し、中小企業の新技術、新製品開発を促進する。

分野別研究会	5分野
--------	-----

公2 共同研究・成果普及事業 1,994,408 千円

(1) 共同研究推進事業 37,143 千円

地域における新産業の創出や新技術の向上を目的とし、財団の独自事業である研究会事業の活動成果を主とした、大学等が保有する研究シーズに企業の技術ニーズを効果的に連携させた高度な研究開発課題に対して研究委託し、企業単独ではリスクが大きく、実施に至らない事業化段階以前の基盤技術研究に対して支援する。

共同研究	4テーマ	〔継続 2テーマ 新規 2テーマ〕

(2) 科学技術コーディネート事業 19,650 千円

研究交流事業の研究会によって芽出しされた研究シーズの事業化への可能性を検証するとともに、大学等や研究会の研究シーズと企業等の技術ニーズのマッチングを行い、企業等へ技術開発を委託することにより、試作品の製作や、実用化に向けた具体的な検討を支援する。

育成試験	2件
成果報告会	1回

(3) 企業連携技術開発支援事業（新規） 9,767 千円

異業種連携による新技術開発が見込める案件について、中堅・中小企業を組織化した研究共同体が行う実用化試験を支援する。

企業連携技術開発	4件
展示会出展	1回

(4) 重点研究プロジェクト事業 802,730 千円

〈別に、愛知県資産取得費用立替金 467,009 千円〉

「知の拠点あいち」で実施する重点研究プロジェクト3テーマ（①低環境負荷型次世代ナノ・マイクロ加工技術の開発 ②食の安心・安全技術開発 ③超早期診断技術開発）を県から受託し、研究を推進する。外部有識者からの意見を聴取する自己評価を実施するとともに、県が実施する研究総合評価委員会の結果を踏まえて、事業化につながるよう取り組む。

また、平成23年度に文部科学省に採択され、5年間の計画で実施している地域イ

ノベーション戦略支援プログラム(国際競争力強化地域)「愛知県『知の拠点』ナノテクイノベーション戦略推進地域」により、産学行政の連携による研究成果の事業化を促進する。

- (5) 知的クラスター創成事業 1,080,414 千円
 <別に、設備投資支出 320,000 千円>
 <別に、管理運営費 44,314 千円>

文部科学省の補助事業である「地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)」により、この地域の先進プラズマナノ科学・工学を基盤技術として、省エネや環境負荷低減に貢献する高度機能部材の創出を目指す研究開発を推進するとともに、地域独自の取組として、研究成果の普及、応用研究・試作開発の支援など、中堅・中小企業への技術移転・事業化の促進を図る。

- (6) 基盤技術高度化支援事業 44,704 千円
 <別に、経済産業省資産取得費用立替金 72,774 千円>

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術(鋳造、鍛造、切削、めっき等)に資する革新的かつハイリスクな研究開発を目的とする、「戦略的基盤技術高度化支援事業」について、中部経済産業局から委託を受け、当財団が事業管理機関として、研究開発の支援を行う。

24年度は、22年度に採択を受けた4件及び23年度に採択を受けた1件を継続して実施する。

公3 教育研修事業 2,374 千円

- (1) 技術経営研修事業 596 千円

技術と経営の双方の専門的知識を理解し、科学技術の成果を効率的に新事業・新製品に結実させることのできる技術経営(MOT)人材を育成するため、他の科学技術支援機関と連携を図りながら、人材育成の計画的推進と普及に関する教育研修事業を実施する。

研修 1回(6日間程度)

- (2) 科学技術コーディネータ育成事業 1,778 千円

当地域からイノベーションを創出し、地域産業の活性化を図るために、中堅・中小企業が抱える技術的課題の解決、新製品開発や販路開拓、事業化に至るまで幅広い支援ができる科学技術コーディネータの育成講座を設置・開催する。

研修 1回(10日間程度)

公4 情報提供事業 10,218 千円

- (1) 情報誌の発行及びホームページへの情報掲載事業 9,310 千円

「研究交流クラブ」の活動状況、共同研究事業や科学技術コーディネート事業の研究成果を始めとした財団の活動状況を情報発信するため、情報誌「科学技術交流ニュース」を発行する。

また、インターネットを利用した科学技術情報ネットワークの運営により、広域的な情報発信を行う。

「科学技術交流ニュース」 発行3回

(2) ネットワーク利用連携事業

908 千円

技術シーズ・ニーズや産学行政連携事業等について、国や地域の既存情報を有効活用し、データベースを整備する。

公5 シンクロトロン光利用施設運営事業 1,351,177 千円

平成24年度中の供用開始に向け、光源装置、ビームライン装置始め実験装置の最終調整を進める。

また、事業の具体的な企画立案及び効果的な運営を行うため、産・学・行政の関係者による委員会で検討・協議を行い、運営計画、利用計画を整備する。

施設の供用開始後は、企業、大学等を始めとしたユーザーの利用に供するとともに、あいち産業科学技術総合センターと連携し、経済産業省の補助事業により導入した高度計測分析機器の利用を含めた最適な分析装置の選択、測定、解析評価をサポートし、研究開発の課題解決のための支援を行う。

また、文部科学省の補助事業である「地域イノベーション戦略支援プログラム」等を活用し、供用開始前後を通じ、企業へのヒアリングや利用相談、展示会出展等を積極的に行うことにより利用促進に努め、運営収支の改善を目指す。

「公《数字》」の「公」は「公益目的事業」を意味する。
予算額は正味財産増減計算方式による。